

平成 30 年度 第3回東御市総合教育会議 会議録

1 日 時

平成 30 年(2018 年)12 月 20 日(木) 午前 10 時 26 分から 11 時 26 分まで

2 場 所

公室

3 議 題

(1)小中学校の学期制について

(2)放課後児童対策について

4 出席者

○市 長 花 岡 利 夫

○教育長 小 山 隆 文

○委 員

教育長職務代理者 下 村 征 子

委 員 小 林 経 明

委 員 小 林 利 佳

委 員 直 井 良 一

○その他

横関教育次長、柳沢教育課長、小林学校教育係長、土屋青少年教育係長

若林学校教育係主査

会議録

横関教育次長

ただ今から平成 30 年度第3回総合教育会議を開催します。
はじめに市長、教育長からごあいさつをお願いします。

花岡市長

学校施設における空調設備設置について、補正予算を組んで進めています。国の方針として、日本中の小中学校で空調設備が設置されることとなり、品不足が不安視されていますが、いち早く品物を確保し、工事を進めたいと考えています。ガス式空調設備を採用する市町村もあるようですが、当市においてはランニングコストの面で課題があるものの、メンテナンス等総合的に判断し、電気式を採用しました。早めに着工し、暑い時期になる前に設置を終えたいと考えています。

子育てしやすいまちを目指して施策を行ってききましたが、下水道等の起債の償還がピークを迎えており、ここ3年間基金を取り崩しながら市政運営をしています。厳しい財政状況の中、教育部門も例外ではなく、事業の取捨選択をしているところではありますが、子どもたちのためにやるべき施策については、共通認識の元で実施したいと思います。

小山教育長

今回は2つのテーマで意見交換をしたいと考えております。時代の流れに沿いながら新たな教育課題に向け、希望を持って取り組んでいきたいと考えております。

横関教育次長

それでは会議事項に入らせていただきます。
事務局より(1)小中学校の学期制について説明します。

柳沢教育課長

来年度から取り組む小中学校の学期制について説明します。

「資料説明」

要旨

・新学習指導要領による授業数の増、教職員の働き方改革を踏まえた施策として、小中学校の学期制について検証を重ねた結果、柗津小学校において、「これまで同様の3学期であるが成績評価は2期制」を、北御牧中学校において、「2学期制」を試行する。

小山教育長

本件についてはそれぞれの地区の市議会議員には既に説明済みであり、他の議員には議会全員協議会にて説明を行う予定です。

小学校においては新学習指導要領が始まることで、新たな課題が生まれています。まず、英語についての課題は、2年後に授業数が年間で35時間増えることです。英語授業増に対応すべく、当市では2年前から準備を進めており、移行期間を設けつつ、来年度から前倒しで実施できるよう工夫してきましたが、継続的な授業時間確保については課題が残ります。

続いて新たに教科化された道徳に対する課題ですが、道徳は短い期間ではなく、児童の変容を長いスパンで見取る必要があります。現行の3学期制では評価がし辛くなると考えます。

これらの課題を踏まえ、柵津小学校において、これまで同様の3学期制であるが成績評価は2学期制を試行していきます。柵津小学校の2019年度以降の取り組みに修正を加えながら、将来的には市内全小学校に取り入れたいと考えています。

中学校については、北御牧中学校における生徒数の減による学級減、教員の定数減が避けられない状況です。数年に渡って教員定数が少なくなり、教員一人当りの業務量が膨大になっていくことを考慮すると、市費講師の配置や駅伝大会など学校行事の内容精選は避けられません。教員が少しでも子どもたちや教科書に向き合う時間を確保するために、来年度から北御牧中学校については「2学期制」を試行したいと考えています。

これまでの学校経営の流れを変えることによって、子どもたちにとって余裕のある学校生活を保障したいとの願いの元、小中学校の学期制について提案させていただきました。

横関教育次長

質問等ございますでしょうか。

直井委員

北御牧中学校も含め、学校規模が1学年1学級という現実が見えるようになってきました。将来的には義務教育学校ということも視野に入れていかざるを得ないと思います。

下村委員

東部中学校区から北御牧中学校区への転学は認められないのですか。

花岡市長

大規模校と小規模校という両校のバランス考えた場合、特別な理由がない限り、現在のシステムでは難しいと考えます。

かつては学校の小規模化が進み、廃校になることを地元が反対するという話を耳にしましたが、少子化によって教育の質の低下を心配する保護者により廃校に到るケースが圧倒的に多いと聞きます。地域が求める学校の価値は変わらなくても、保護者が求める学校の価値は「教育の機会をどのように確保するか」に変わってきていると思います。当面は複式学級になるまでは、小学校単位の地域づくりを進めていくことが基本と考えます。

小山教育長

学級数は複式学級になる状況ではありませんが、中学校においては学級が複数あることによって生まれる競争心も大切な要素であるし、ICTを使って東部中学校と交流を深めることで補っていければ良いと考えます。

小林利佳委員

東部中学校の専科教員が北御牧中学校で教えることはできないのですか。

小山教育長

兼務はできないわけではありませんが、専科教員が抱えている授業数など双方の条件が整わないと難しいです。

下村教育委員

来年度、教員の定員減になる北御牧中学校においては、複数教科の免許を持つ教員がいないと授業に支障がでると言うことですね。

小山教育長

近隣市町村では、市町村費で講師3名を雇用しないと運営できない学校も出てきているようです。近い将来、北御牧中学校においても同じ状況になっていくことが考えられます。

小林経明委員

市財政が厳しい状況である中、費用面のことを考えるとそろそろ高校と同じように非常勤の時間給講師の雇用を考える時期に来ていると思います。高校の教育現場においては時間給講師の方が多くいますが、義務教育の現場ではあまり見ないケースかと思いますので、今後研究してみてもどうでしょうか。

直井委員

2学期制への移行の説明の中で、北御牧中学校の使っているプールについて、今後は使わないとのことですが、管理や衛生面については十分に配慮していただきたいです。

小山教育長

旧北御牧村民プールを今まで北御牧中学校のプールとして利用してきた経過があります。

花岡市長

プール利用がないのであれば、所定の手続き後、所管替えの手続きを進めてください。小中学校の学期制については理解しました。

横関教育次長

(1)小中学校の学期制については方針が確認されました。

続きまして、事務局より(2)放課後児童対策について説明します。

柳沢教育課長

放課後児童対策について説明します。

「資料説明」

要旨

・文部科学省より「新・放課後子ども総合プラン」が示され、2023年度までに待機児童の受け皿の整備を求められている。

・東御市では東御市版放課後子ども教室パイロット事業(案)を展開する。

・指導主事をコーディネーターに、市内高校生ボランティアを募り、各小学校において遊びを通じたリーダー育成を行う。

小山教育長

現在、市では児童館・児童クラブを運営しておりますが、更なる子どもたちの受け入れ場所の整備について、議会等から要望されているところです。

「新・放課後子ども総合プラン」では「放課後子供教室」を設置し、待機児童ゼロを目指すよう求めています。市教委とすると待機児童もいませんし、児童館・児童クラブが十分に機能していると認識していますので、それを充実させ、さらに一歩進めた「東御市版放課後子ども教室パイロット事業」を計画しました。各校の体育館を使い、身体遊びを通じた人間関係作りと、特に高学年児童のリーダー的素養を身に付けることが目的です。

児童館も児童クラブも保護者からお預かりをするスタンスで運営をしてきましたが、当事業によって、市教委が願う子どもたちの姿を発信する展開にしていきたいと考えています。

来年度は各小学校で2回程度パイロット事業を計画しております。

直井委員

高校生ボランティアはどれくらいの人数を想定していますか。

小山教育長

20名程度です。子どもフェスティバルやジュニアキャンプにも手伝っていただいております。今回も自発的に参加を申し出ていただいております。

小林利佳委員

放課後を使つての事業ということですが、夏休みの長期化や授業数の増加に支障なく対応できそうですか。

小山教育長

学校からは大きな影響はないと聞いています。

小林経明委員

文部科学省が示す「新・放課後子ども総合プラン」は待機児童の解消という大きな目的があるわけですが、今のところ本市には待機児童がないので、「放課後子ども教室」設置の必要はないと思います。地域を巻き込んだ独自の新しい取り組みとしての「東御市版放課後子ども教室パイロット事業」には大いに期待しています。

小山教育長

共働きの家族が増えると、児童館・児童クラブの利用者が増えるのは確かで、施設のキャパシティについては今後の課題です。民間の児童館が開所する予定であり、利用者と少子化のバランスなどを総合的に見守りたいと思います。

横関教育次長

以上で第3回総合教育会議を閉会とさせていただきます。